

A female athlete with long blonde hair in a ponytail is captured in a starting crouch on a blue running track. She is wearing a black sports top, blue shorts, and blue sneakers. Her hands are on the ground, and her body is low to the track. The track has white lane markings. The scene is brightly lit, casting a long shadow of the athlete onto the track.

資料(国の動向)

# 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

## I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

## II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

## III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める  
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

## IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し  
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

## 趣旨・目的

令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図ること等を踏まえ、**運動部活動の地域への移行を着実に実施**するとともに、地域におけるスポーツ環境を整備し、**子供たちがそれぞれに適した環境でスポーツに親しめる社会を構築**することを目的として、**運動部活動の地域における受け皿の整備方策等について検討**する。

## 概要

### メンバー

- ✓ 有識者
- ✓ 地方自治体  
(教育委員会、スポーツ振興部局)
- ✓ 学校関係者  
(全日本中学校長会、日本中学校体育連盟、  
日本PTA全国協議会)
- ✓ スポーツ関係者  
(日本スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ全国協議会、  
日本スポーツ少年団、中央競技団体、大学スポーツ協会、  
笹川スポーツ財団、日本フィットネス産業協会、民間事業者)

### 主な検討事項

- 1) 地域における受け皿の整備方策
  - 2) 指導者の質及び量の確保方策
  - 3) 運動施設の確保方策
  - 4) 大会の在り方
  - 5) 費用負担の在り方 等
- ※検討対象は主に中学校の部活動とする。



過去の検討会議の情報や提言は、  
こちらからご参照ください。  
(スポーツ庁ホームページ)



上記メンバーの下で、1～2か月に1回のペースで会議を開催し、検討事項について議論を行い、**令和4年6月6日に、検討会議座長よりスポーツ庁長官へ提言を手交。**

# 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（案）の概要

※公立中学校等における運動部活動を対象

## 運動部活動の意義と課題

### 意義

- 生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

### 課題

- 近年、特に**持続可能性**という面で**厳しさを増しており**、中学校生徒数の減少が加速化するなど**深刻な少子化が進行**。〈生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和3年84万人〉
- 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担**。〈土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増〉
- 地域では、**スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない**。

### これまでの対応

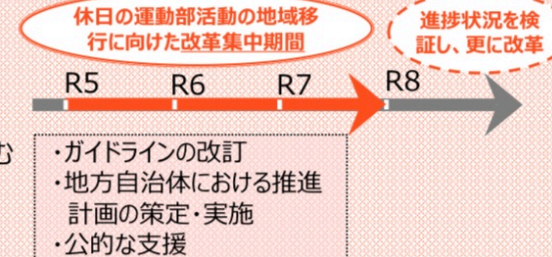
- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る
- 中教審や国会等：「部活動を学校単位から**地域単位の取組**とする」旨指摘

## 目指す

- 少子化の中でも、**将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保**。このことは、学校の働き方改革を推進し、**学校教育の質も向上**。
- スポーツは、**自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」**を感じることに本質。**自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出**。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保**。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

## 改革の方向性

- まずは、**休日の運動部活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする
- 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末**を目標  
（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）
- 平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**
- 地域における**スポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等**にも着実に取り組む
- 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進**  
※改革を推進するための「**選択肢**」を示し、「**複数の道筋**」があることや、「**多様な方法**」があることを強く意識



## 課題への対応

### 新たなスポーツ環境

- ・地域の実情に応じ、多様なスポーツ団体等が実施主体
- ・特定種目だけでなく、生徒の状況に適した機会を確保

### スポーツ団体等

- ・先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供
- ・必要な予算の確保やtoto助成を含む多様な財源確保の検討

### スポーツ指導者

- ・指導者資格の取得や研修の実施の促進
- ・部活動指導員の活用、教師等の兼職兼業、人材バンク
- ・指導者の確保のための支援方策の検討

### スポーツ施設

- ・学校体育施設活用に係る協議会の設置、ルールの策定
- ・スポーツ団体等に管理を委託

### 大会

- ・大会主催者に対し、地域のスポーツ団体等の参加も認めるよう要請
- ・地域のスポーツ団体等も参加できる大会に対して支援

### 会費や保険

- ・困窮する家庭へのスポーツに係る費用の支援方策の検討
- ・スポーツ安全保険が、災害共済給付と同程度の補償となるよう要請

### 学習指導要領等

- ・部活動の課題や留意事項等について通知、学習指導要領解説の見直し、次期改訂時の見直しに向けた検討
- ・部活動等から伺える個性や意欲・能力を入試全体を通じ多面的に評価
- ・教師の採用で部活動指導の能力等を過度に評価していれば、見直す

※国立の中学校等でも、学校等の実情に応じて積極的に取り組むことが望ましい。

※公立及び国立の高等学校等については、義務教育を修了し進路選択した高校生等が自らの意思で選択している実態等があるが、各学校の実情に応じて改善に取り組むことが望ましい。

# 文化庁活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年8月9日手交）の概要



※公立中学校等における文化庁活動を対象

文化庁

## 文化庁活動の意義と課題

### 意義

- 生徒の文化芸術等に親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

### 課題

- 近年、特に**持続可能性**という面で**厳しさを増しており**、中学校生徒数の減少が加速化するなど**深刻な少子化が進行**。〈生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和3年84万人〉
- 休日も含めた部活動の指導**が求められるなど、**教師にとって大きな業務負担**。〈土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増〉
- 地域では、**文化芸術団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない**。

### これまでの対応

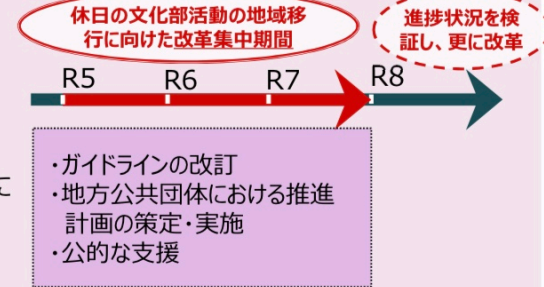
- 文化庁活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年12月）：学校と地域が協働・融合した形で地域における文化芸術等に親しむ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る
- 中教審や国会等：「部活動を学校単位から**地域単位の取組**とする」旨指摘

## 目指す

- 少子化の中でも、**将来にわたり我が国の子供たちが文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保**。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- 文化芸術は、**豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育む**等、人間が人間らしく生きる糧となるものであり、地域移行を契機に、生徒や保護者等が地域の文化芸術活動に参加し、**地域における文化芸術の発展を主体的に形成**、さらには地域社会を豊かにすることにつながる。**部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出**。
- 地域の持続可能で多様な文化芸術等に親しむ環境を**一体的に整備し**、子供たちの**多様な体験機会を確保**。（文化芸術団体等の組織化、指導者や施設の確保など）

## 改革の方向性

- まずは、**休日の文化庁活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする
- 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目標**  
（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）
- 平日の文化庁活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**
- 地域における文化芸術に親しむ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む
- 地域の文化芸術団体等と学校との連携・協働の推進  
※改革を推進するための「**選択肢**」を示し、「**複数の道筋**」があることや、「**多様な方法**」があることを強く意識



## 課題への対応

<b>新たな文化芸術環境</b>	地域の実情に応じ、文化芸術団体等、多様な実施主体・生徒の状況に適した機会を確保	<b>大会</b>	大会主催者に対し、地域の文化芸術団体等の参加も認めるよう要請 ・地域の文化芸術団体等も参加できる大会に対して支援
<b>文化芸術団体等、指導者</b>	・先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供 ・必要な予算や地域に応じた多様な財源確保の検討 ・指導者資格の取得や研修の実施の促進 ・部活動指導員の活用、教師等の兼職兼業、人材バンク ・指導者の確保のための支援方策の検討	<b>会費や保険</b>	・困窮する家庭への費用の支援方策の検討 ・スポーツ安全保険が、災害共済給付と同程度の補償となるよう要請
<b>活動場所</b>	・学校施設活用に係る協議会の設置、ルール策定 ・社会教育施設、文化施設等の活用の促進	<b>学習指導要領等</b>	・部活動の課題や留意事項等について通知、学習指導要領解説の見直し、次期改訂時の見直しに向けた検討 ・部活動等から伺える個性や意欲・能力を入試全体を通じ多面的に評価 ・教師の採用で部活動指導の能力等を過度に評価していれば、見直す

※国立の中学校等でも、学校等の実情に応じて積極的に取り組むことが望ましい。  
 ※公立及び国立の高等学校等については、義務教育を修了し進路選択した高校生等が自らの意思で選択している実態等があるが、各学校の実情に応じて改善に取り組むことが望ましい。  
 ※私立学校でも、学校等の実情に応じて適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

## 部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた**人間形成の機会**や、**多様な生徒が活躍できる場**である。
- ✓ 一方、これまで部活動は**教師による献身的な勤務**の下で成り立ってきたが、休日を含め、**長時間勤務の要因**であることや、**指導経験のない教師にとって多大な負担**であるとともに、**生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる**。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「**部活動を学校単位から地域単位の取組とする**」旨が指摘されている。

**持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要**

## 改革の方向性

- ◆ **部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務**であることを踏まえ、**部活動改革の第一歩**として、休日に教科指導を行わないことと同様に、**休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境**を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き**休日に指導を行うことができる仕組み**を構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、**休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境**を整備

## 具体的な方策

### I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- **休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保**  
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- **保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援**
- **拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開**

### II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との**合同部活動の推進**
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となる**I C T活用の推進**
- 主に**地方大会の在り方の整理**（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

# 学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（イメージ）

## 学校部活動

【位置付け】学校教育の一環（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

## 学校部活動の地域連携

■ **合同部活動**の導入や**部活動指導員等**の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 （※アスリート・アーティスト等の人材を含む）
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■ 少子化の中、持続可能な体制にする必要  
（学校や地域によっては存続が厳しい）

■ 地域の実情に応じた段階的な体制整備

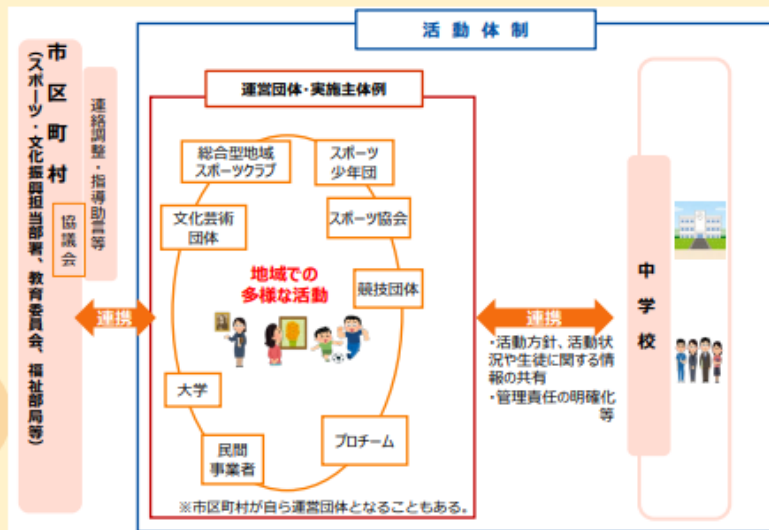
地域の実情に応じ、当面は併存

## 休日の地域クラブ活動

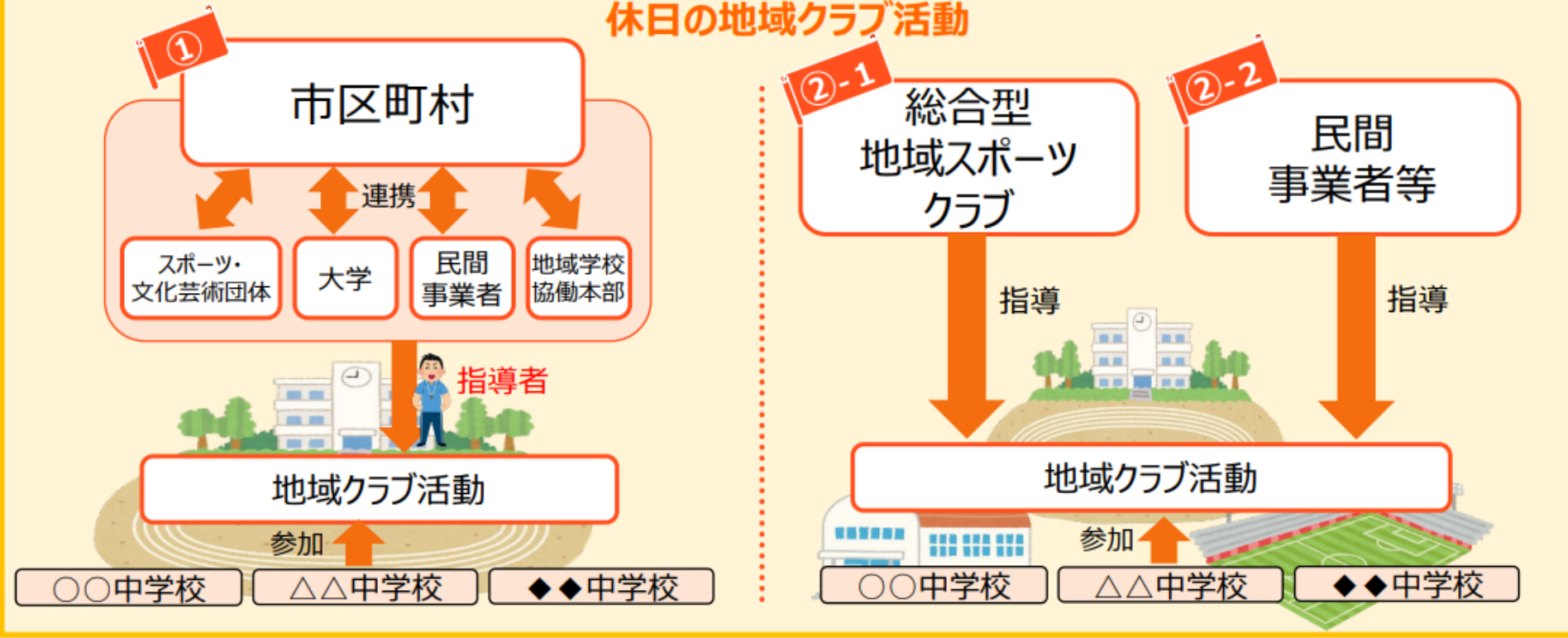
【位置付け】**学校と連携して行う地域クラブ活動**  
（法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術）

■ **地域の多様な主体**が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	① <b>地方公共団体</b> （※複数地方公共団体の連携を含む） ② <b>多様な組織・団体</b> （総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	<b>地域の指導者</b> （一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等有する施設
費用	可能な限り低廉な会費 + 用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

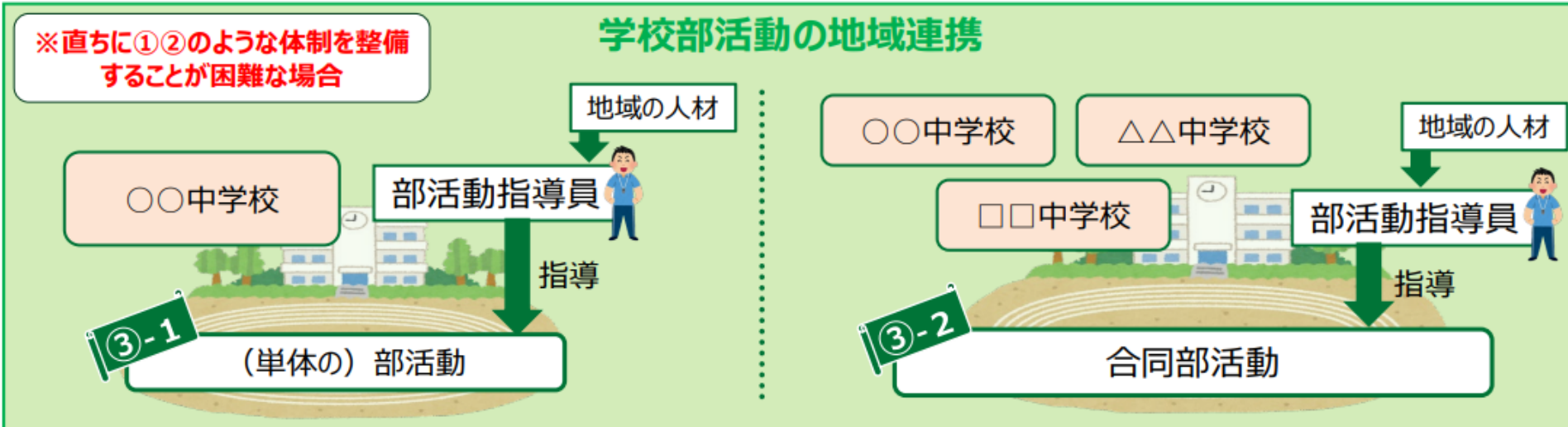


## 休日の地域クラブ活動



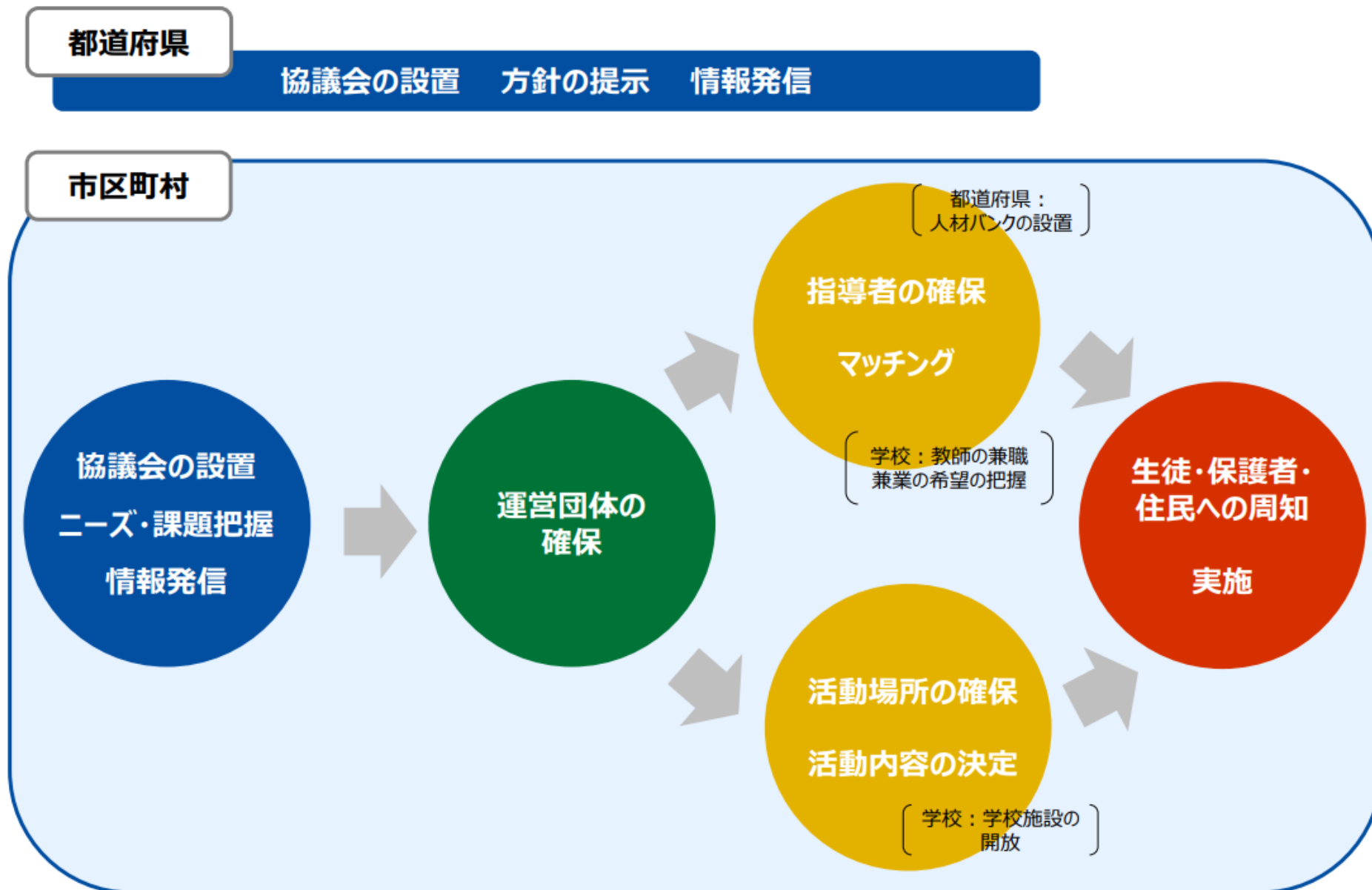
※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合

## 学校部活動の地域連携





# 休日の部活動の地域移行に係る手順の流れ（イメージ例）



A female athlete with long hair in a ponytail is in a starting crouch on a blue running track. She is wearing a black athletic top and blue shorts. Her hands are on the ground, and her feet are in a starting position. The track has white lane markings. The background is a clear blue sky.

持続可能な  
「(仮称)地域部活動『ひらかたモデル』」  
の策定に向けて

# 「地域部活動『ひらかたモデル』」策定に向けての会議体

市町村の地域スポーツ担当部署や学校の設置・管理運営を担う担当部署、地域スポーツ団体、学校等の関係者からなる協議会を設置し、都道府県の指導助言を受けつつ、地域の実情に応じた様々な方法を想定しながら、活動の実施主体やスケジュールなどを検討し、実行していく必要がある。

市長・教育委員会



Created by Adrien Couquet  
From the Moon Project



「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」

枚方市中学校部活動の在り方懇話会

部活動に関する有識者  
文化芸術に関する有識者  
スポーツ推進員  
スポーツ少年団  
小中学校PTA関係者  
小中学校長  
中学校体育連盟  
文化芸術に関する指導者



Created by Clotilde Zwaan  
From the Moon Project



教育委員  
会事務局



枚方市中学校部活動の在り方  
検討委員会・幹事会

教育指導課  
教職員課  
学校支援課  
教育政策課  
スポーツ振興課  
文化生涯学習課  
企画課  
市民活動課  
財政課



Created by Becris

市長部局

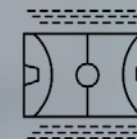


## 【目的】

地域部活動『ひらかたモデル(案)』作成に係る意見聴取

## 【目的】

地域部活動『ひらかたモデル(案)』作成



# 懇話会のメンバーについて

## 枚方市中学校部活動の在り方懇話会

### 部活動に関する有識者

- ・大阪体育大学 小林 博隆 准教授
- ・スポーツ推進員 草部 正和 氏
- ・スポーツ少年団 関 輝 氏
- ・小中学校PTA関係者 渡邊 愛乃 氏 牧村 剛 氏

### 文化芸術に関する有識者

- ・大阪樟蔭女子大学 萩原 雅也 教授(人文/社会 地域研究)
- ・関西外国語大学 南部 潔 教授(元 大阪府教育センター カリキュラム開発部長)
- ・元中学校教員 赤井 学 氏(長年吹奏楽部の顧問を務める)

### 学校関係者

- ・小中学校長 西村 英理 校長 田中 博 校長
- ・中学校体育連盟担当 花崎 知行 校長
- ・事務局員

### 【目的】

地域部活動『ひらかたモデル』(案)作成に係る意見聴取

## 計画(年度計画)

### 令和5年度

- 庁内委員会・幹事会の実施
- 枚方市中学校部活動の在り方懇話会開催(年間4回予定)
- アンケート実施  
(児童生徒・保護者・教職員)
- 実証プログラムの実施(一部の部活動)

### 令和6年度

- 実証プログラムの更なる拡充
- (仮称)地域部活動「ひらかたモデル」策定
- 教職員・保護者説明会開催

### 令和7年度

- 一部地域から段階的に本格実施

## 今年度の計画(令和5年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係課打ち合わせ</li> <li>○関係者会議の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内委員会・幹事会の開催(1日)</li> <li>○第1回懇話会開催(7日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケート実施(児童生徒・保護者・教職員)</li> <li>○幹事会の開催</li> <li>○委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回懇話会開催(上旬予定)</li> <li>○幹事会の開催</li> <li>○委員会の開催</li> </ul>	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第3回懇話会開催(上旬予定)</li> <li>○幹事会の開催</li> <li>○委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実証プログラム準備</li> <li>○児童・保護者説明会</li> <li>○指導者の確保等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実証プログラム開始予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第4回懇話会開催(下旬予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幹事会の開催</li> <li>○委員会の開催</li> </ul>

資料

# 「学校部活動の現状」

## 1. 部活動入部生徒数の減少

→部活動が成立しない

運動部	男子	女子	合計	文化部	男子	女子	合計
令和元年度	3938	3070	7008		381	1386	1767
令和4年度	3661	3115	6776		489	1387	1876
	↓	↑	↓		↑	—	↑

特に人数が増えている部活

- ・美術部（男女ともに）
- ・バレーボール部（特に女子）
- ・女子卓球部
- ・女子ソフトテニス部
- ・PC部（男女ともに）



Created by Becris

特に人数が減っている部活

- ・ブラスバンド部（男子は増）
- ・男子ソフトテニス部
- ・男子サッカー部
- ・軟式野球部



Created by Creative Commons  
from the Open Project

# 「学校部活動の現状」

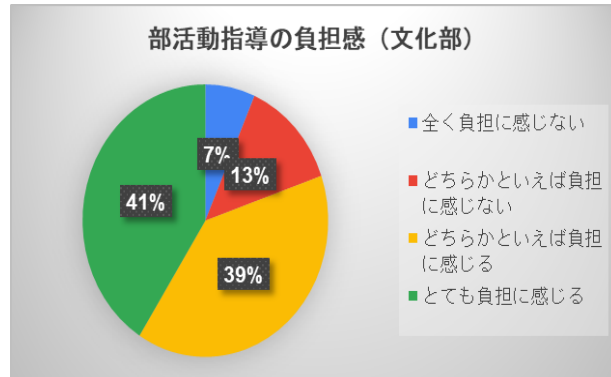
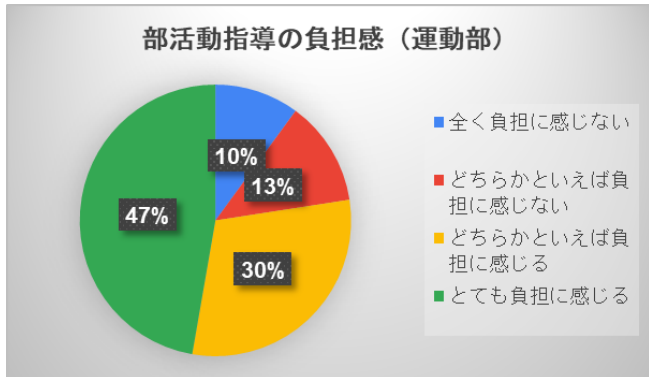
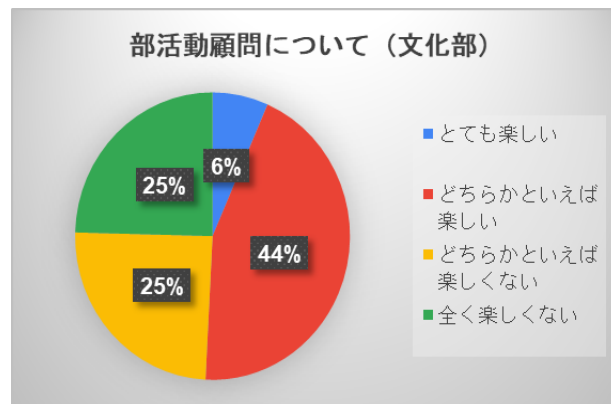
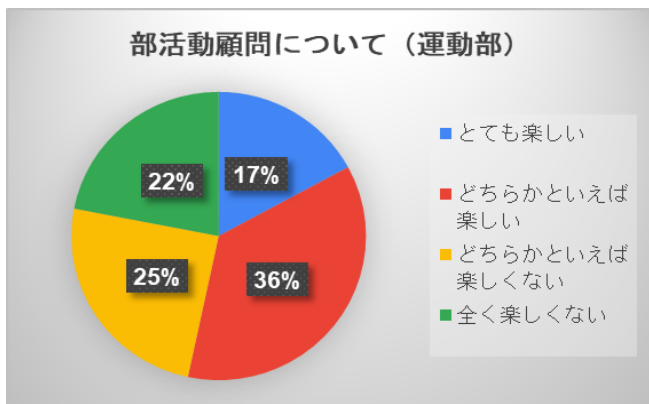
## 2. 教職員の業務改善

→ 専門的な指導ができる教員の割合の減少

→ 部活動を負担に感じる教職員

部活動に対する教職員の意識

令和3年度 中学校部活動に係るアンケート



専門的な指導ができる教員の割合

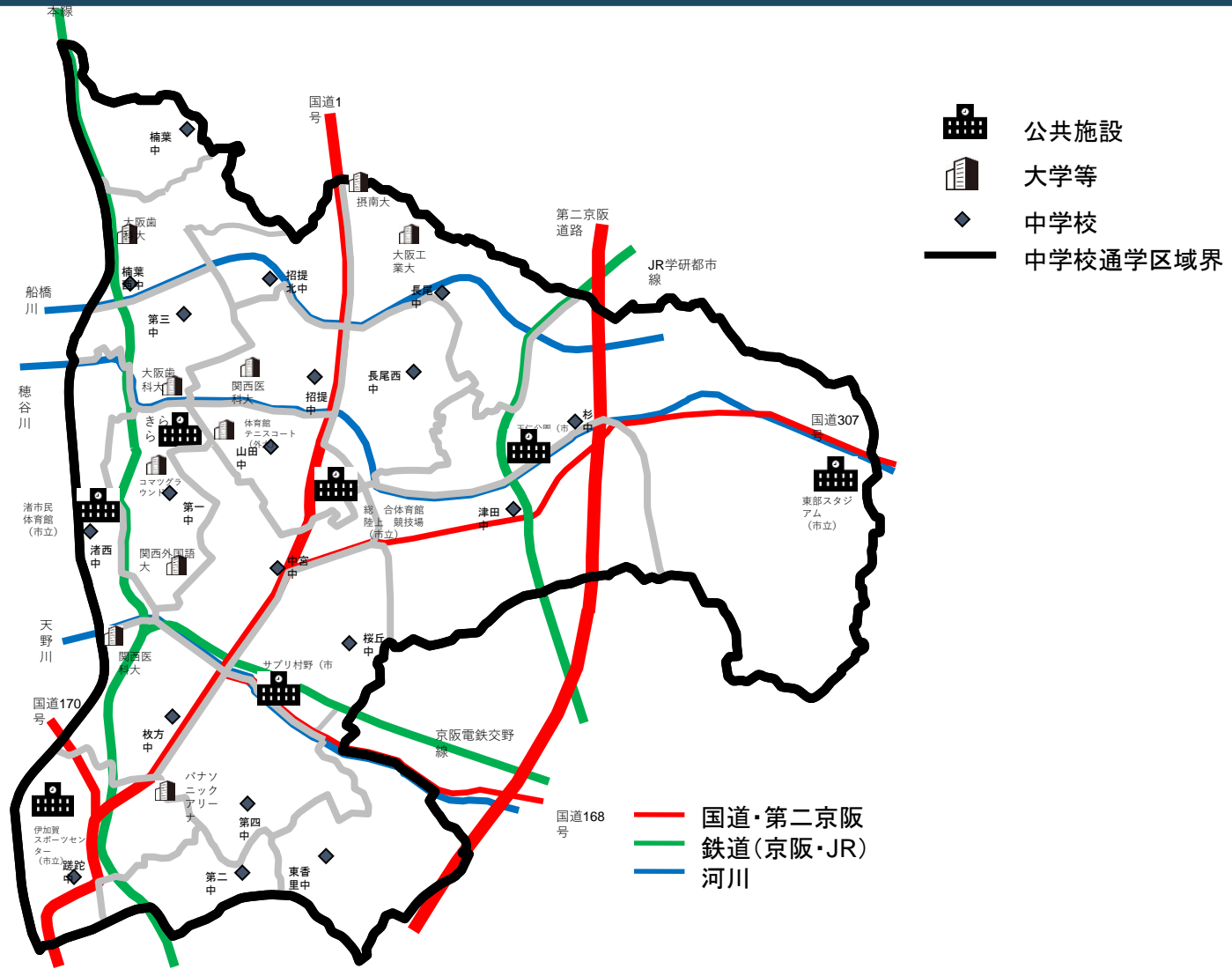
部活動	令和元年	令和4年	
運動部	51.5%	48.5%	↓
文化部	令和元年	令和4年	
	53.8%	52.3%	↓



Created by Becris



# 「市内施設表(資料)」



# 「全中学校部活動所属人数表」

男子/女子	第一中	第二中	第三中	第四中	津田中	枚方中	中宮中	招徠中	楠葉中	楠葉西中	東香里中	長屋中	杉中	山田中	津西中	桜丘中	六丁中	招徠北中	長屋西中	男	女
美術	4 44	0 18	5 33	0 0	11 46	3 39	0 24	4 18	1 24	3 17	3 29	3 42	1 59	6 15	6 24	5 15	7 44	9 10	3 41	74	542
プラスバンド	12 22	0 0	8 41	16 31	8 44	3 31	3 21	0 0	5 25	2 23	1 50	7 21	3 37	0 0	10 19	0 0	2 49	5 11	9 24	94	449
家庭科	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 30	0 0	0 0	0	30
放送	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
演劇	0 0	0 0	0 0	0 14	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	14
科学・理科	0 0	19 0	0 0	0 0	0 0	0 0	15 12	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 3	0 0	20 8	58	23
コンピュータ	28 8	0 0	0 0	33 11	0 0	26 0	0 0	0 0	10 0	0 0	0 0	0 0	20 12	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	117	31
茶道・華道	0 0	0 0	0 0	2 35	0 0	0 0	0 9	5 12	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 9	0 0	0 0	0 0	7	65
合唱(コーラス)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
英語・ESS	0 0	13 18	0 0	0 0	3 19	5 7	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	21	44
囲碁・将棋	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 1	0 0	0 0	3	1
書道	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
技術・工作	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	20 0	0 0	0 0	12 1	0 0	11 5	26 1	0 0	0 0	69	7
園芸・緑化	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
料理・手芸	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 10	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1	10
軽音楽・音楽	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	16 32	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8 51	0 0	0 0	0 0	24	83
文芸	0 0	7 11	6 5	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	13	16
ギター・マンドリン	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
マンガ・アニメ	0 0	0 0	0 0	4 33	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4	33
社会	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
陸上競技	23 21	35 15	30 25	30 18	42 12	16 19	7 11	0 0	39 27	18 13	33 15	35 15	26 17	29 8	12 10	22 13	39 28	0 0	33 13	469	280
水 泳	20 7	0 0	21 9	28 14	14 4	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	19 7	0 0	18 12	0 0	0 0	0 0	0 0	15 0	16 1	152	54
サッカー	29 0	0 0	36 0	35 0	20 0	32 0	36 0	0 2	27 1	10 1	51 0	20 1	35 0	27 0	15 1	22 1	29 0	25 0	35 0	484	7
ラグビー	0 0	0 0	11 0	0 0	0 0	0 0	47 1	0 0	32 4	0 0	0 0	0 0	11 1	0 0	0 0	0 0	33 0	0 0	0 0	134	6
柔 道	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1	0
剣 道	0 0	21 9	14 4	13 7	0 0	17 8	0 0	0 0	0 0	11 4	0 0	9 12	8 9	0 0	0 0	6 4	16 22	0 0	8 10	123	89
卓 球	40 19	0 0	26 18	43 31	58 0	29 37	0 14	0 0	32 0	25 25	25 4	20 10	34 18	0 0	27 9	16 7	31 50	15 0	22 0	443	242
ソフトテニス	30 29	37 40	37 36	53 62	64 50	41 64	30 45	18 28	12 42	20 23	34 35	10 26	32 51	25 24	0 28	5 33	50 59	19 22	22 30	539	727
テニス	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1	0
準硬式野球	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
軟式野球	28 2	25 2	29 0	23 0	30 1	21 0	4 0	18 0	0 0	20 0	27 0	4 1	18 0	22 0	24 0	17 2	40 0	0 0	15 0	365	8
体 操	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
相 撲	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0
バドミントン	0 44	26 41	0 0	33 45	0 35	0 0	25 42	0 50	19 16	20 30	12 43	27 23	49 34	0 28	0 37	3 30	41 57	0 0	0 35	255	590

# 枚方市 地域団体等分布図

